

令和8年度 総合型選抜A日程 小論文（看護学科）

【出題のねらい】

・課題文を参照し、自己の経験を踏まえ、「チームで働く」際の必要な要素について、自己の考えを読み手にわかりやすく説明できることを期待しています。

【解答例】

私が考える「チームで働く力」に不可欠な要素は、目標達成に向けた「多様な視点を受け入れる柔軟性」と、「コミュニケーション力」です。多様な人々と協働するには、自分の考えを伝えるだけでなく、他者を尊重し共通の目標などを見出す力が必要です。

私は吹奏楽部の部長として全国大会を目指した際、この力の重要性を実感しました。大会が近づくにつれ、練習の厳しさを求める私と、部員との間に溝ができ、合奏の響きさえもバラバラになってしまいました。当初は「目標のためには我慢が必要だ」と自分の考えを押し付けていたため上手くいきませんでした。顧問の先生の助言から「リフレクション（振り返り）」を行い、私自身が部長という立場に固執し、部員一人ひとりの声に耳を傾けていなかったことに気づきました。そこで私は、学年を越えたミーティングを重ね、全員が抱える不安や理想を「傾聴」する場を設けました。

その結果、全員に共通していたのは「最高の演奏を届けたい」という願いだと分かり、練習の量ではなく「互いに音を聴き合う質」を高める方向へと目的を共有しました。この経験から、チームで働くとは、単に意見の一つにまとめることなく、「対話を通じて互いの違いを強みに変え、全員が納得できる解決策を共に作り上げること」だと学びました。私は部活動で培ったこの力を基盤に、多様な価値観を柔軟に受け入れ、チームの力を最大化できる人間でありたいと考えています。（600字）